

平成 24 年度「みえの現場・すこいやんかトーク」(尾鷲市) の概要

7月7日(土)に尾鷲市早田で「みえの現場・すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、ビジョン早田実行委員会を代表する皆さん8名の方にお集まりいただき、活動内容や将来への思い、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



【参加者からの発言】

参加者の皆さんからは、以下のようなご意見をいただきました。

- 現在やっている漁業体験教室などで、この地域に入ってきた若い人たちが定着して、5～10年後には、子どもたちが遊んでいる姿があることが夢。
- この地域に入ってきた若い人たちに定着してもらうための生活面での支援が必要だと思うので、知恵を貸してほしい。
- 人口が減ってきているのに、サル、イノシシ、シカは増えている。獣害対策として何か対策が必要である。
- 県や市の職員の人たちもこの地域の活性化に携わって、輪が広がり、ようやく形になってきた。
- 地域のものを使って何か特産品ができないかといういろいろ試行錯誤している。今後も、県や市と一緒に連携して進めていきたい。

- 災害時に消防団員が安心して活動できる仕組みを考えてほしい。
- 県一漁協の話が検討されているが、合併後に小さい漁協が疲弊してしまうことがないように検討してほしい。



郷土料理をご紹介します。



知事がもっているのは「ガンガゼ」というウニの一種。トゲを染料として有効活用。

【知事の発言】

皆さんからのご意見を受け、知事からは次のような発言がありました。

- 自分たちの地域のことは自分たちでやろう、という思いを継続していくことは、地域の魅力づくりにつながっていく。
- 獣害対策については、三重県は、全国でも被害が多い県であるため、今年度から獣害対策課を設置して重点的に取り組んでいくこととしている。なかなか即効性のある対策はないが、さまざまな対策を組み合わせ対応していきたい。
- 早田地区は、県もこれまで調査やモデル事業などを通して、市とも連携して取り組んできている。今年度南部地域活性化局を設置し、基金を創設したので、これまで蓄積してきたものを、さらに生かすためにどうしたらよいかを相談しながら、めりはりをつけて支援していきたい。
- まちづくりに女性が関わっている地域は本気で地域づくりをしているところだと考えている。早田の取組にはたくさんの女性が関わって、みんなで一緒に頑張っていこうという姿勢が本当に嬉しく感じているので、皆さんと一緒に県も頑張っていきたい。



知事のネクタイは「ガンガゼ」のトゲを染料として活用して染めたもの。磯の香りがするやさしい色合いに染め上がり、同じ色は二度と出せないのもので、世界で一つだけのものになります。